

## バレーボールと歩んだ3年間

鈴木 創大

僕は、バレーボールを始めた時はとても下手くそだった。もともと運動神経が悪いのに加えて、中学1年から始めたのでドがつくほど下手だった。それでも1ヶ月・2ヶ月とコツコツと努力を重ね少しずつではあるが僕のバレーの腕は上がっていった。そして気がつけば、いつの間にか主将になっていた。

そして月日が経ち、あっという間に大阪大会の日になり第3位の素晴らしい成績をとることができた。今、思い返すとこの3年間で本当に一瞬のように感じる。けれどその間ずっと僕たちが努力を続けてきたからこそ良い結果が残せたのだと思う。

もちろん色々悩んでつらかった時期もあった。けれどもそれを乗り越えて最後までやり通せたことを誇りに思っている。

僕が3年間バレーを続けて一番感じていることは、「努力は嘘をつかない」ということだ。僕は努力を続けていくことの大切さと、その努力を支え続けてくれる周りのたくさんの人達への感謝の気持ちを忘れずに、これからも自分の挑戦を続けていきたい。

